

間欠的導尿

間欠導尿とは、一定の時間ごとに、または必要時に限り尿道からカテーテルという管を入れて膀胱にたまった尿を出すことをいいます。膀胱にカテーテルを入れたままにする留置カテーテルによる導尿と比べ、移動や活動が行いやすいです。

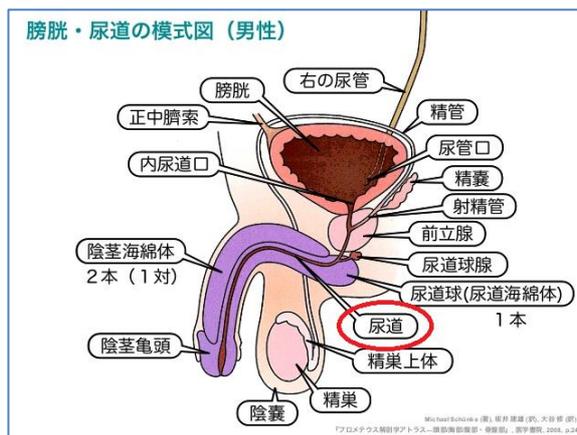


図3 男児尿道側面図：尿道口から膀胱まで 5～10cm

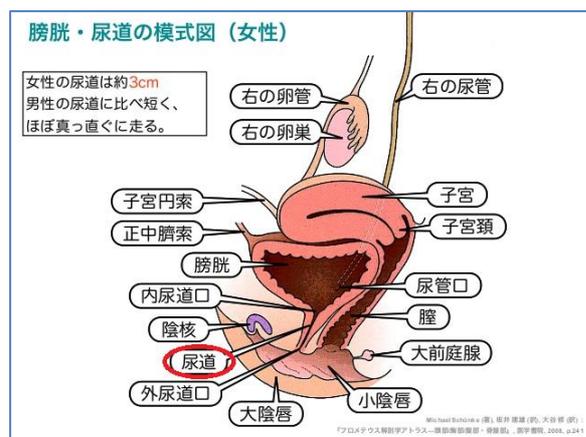


図1 女児尿道側面図：尿道口から膀胱まで 3～4cm

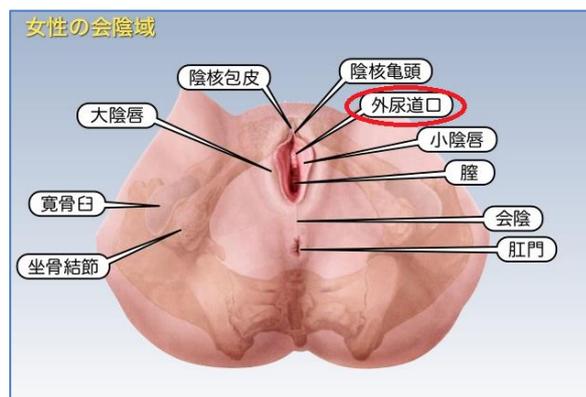


図2 女児陰部正面図

準備

1. 導尿に必要な物品

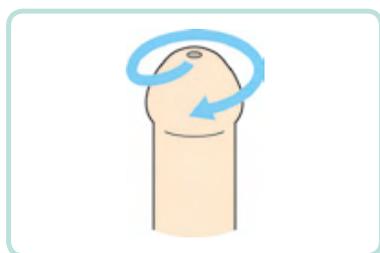
- 1) カテーテル（再利用型・使い捨て型）
- 2) 潤滑ゼリー（カテゼリー）
- 3) 主治医の指示があれば消毒液（0.025%逆性石けん）
- 3) ①消毒綿（コットン綿に消毒液を入れて消毒綿を作成）
- 4) おしりふき
- 5) おむつ、または尿器

導尿方法

1. 導尿前

- 1) 手をきれいにしましょう。

- 2) カテーテルを入れる長さをもう一度確認しましょう。入れる長さは約() cmです。
- 3) カテーテルを清潔に取り出し、カテーテルの先に潤滑ゼリーをつけます。
- 4) 陰部を消毒もしくは石鹸できれいに洗います。右効きの場合は子どもの右側に立つとやりやすいです。足が閉じてしまう場合はもう一人必要です。



- ①男児の消毒の場合:利き手と反対の手で陰茎を持ち、包皮を剥いて亀頭部を出して拭く



- ②女児の消毒の場合:利き手とは反対側で陰唇を開き、尿道口を清潔にするよう拭く

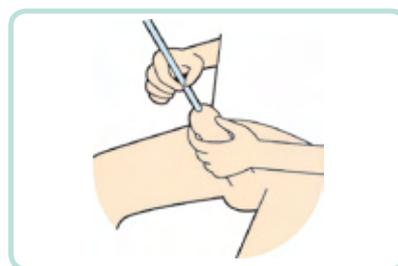
尿道口は一番清潔にします。そのため往復させず一方通行であると意識してください。



2. カテーテルを挿入します。

陰部を清潔にするときに保持した手はそのまま保ちます。利き手でカテーテルを鉛筆を持つようにもちます。カテーテルの出口は、尿器やオムツに置きます。

- 1) 男子の場合、ペニスを持ち上げます。
(図3の尿道がまっすぐになるようなイメージ) ゆっくりカテーテルを挿入します。



- ①男児のカテーテル挿入

- 2) 女子の場合、陰唇を広げます。尿道口が見えない場合もありますが、図2をイメージし、陰核の下あたりを狙って挿入してみてください。



- ②女児のカテーテル挿入

3. 尿が出てくるのを確認します。

尿が出なくなったらカテーテルをゆっくり抜きましょう。膀胱を押しはいけません。膀胱を傷つける原因となったり、尿が腎臓へ逆流して感染症の原因となります。

尿の観察

- 1) 尿量
- 2) 色
- 3) 混濁（血性浮遊物・白色浮遊物など）

お子様の排尿の時間や毎回の排尿量を理解しておくことは、身体の状態を把握するためにも大切です。時間、毎回の導尿量、自力での排尿量、尿の状態(血が混じている、尿が濁っているなど、いつもと違う変化があれば)を記入しておくようにしましょう。

記入例

20XX年 XX月 XX日(日 曜日)

	時間	導尿量	排尿量	尿の状態
①	8:00	200 ml	50 ml	
②	11:00	220 ml	30 ml	尿がにごっている
③		ml	ml	

図4 観察記録例

使用物品の消毒・交換

1. 再利用型のカテーテルの場合



図5 再利用型カテーテル

- 1) 使い終わったらカテーテル内を水道水でよく洗います。

- 2) 水気を切ってから、消毒液の入ったカテーテルのケースに戻しましょう。
 - 3) ケース内の消毒液は一日1回新しくしましょう。その際、ケース内もきれいに洗いましょう。
2. 使い捨てのカテーテル（主にネラトンカテーテル）の場合は1回使用ごとに捨てます。一般プラスチックごみに出してください。



「こんな時は・・・」



尿が濁っている

発熱していなければ次回外来まで様子を見ましょう。尿量が少なくなってきたり、混濁が増えてきたら病院へ相談してください。

血が混じっている

小さな粒々や薄いものであればノートにメモして次回外来時医師に伝えてください。鮮やかな赤色であれば病院に連絡してください。

オレンジ色の濃い尿である

水分不足が考えられます。水分を増やすか、外来時に医師へ相談してください。

発熱があり、尿量が少ない・混濁がつよい・色が濃い

38度以上の発熱とともに上記症状がある場合、尿路感染の疑いがありますので、一応入院の準備をして病院に受診してください。